

ふくひのひろば

次号の子定

- ・ふれあいグループ
「春のつどい」
- ・草津・庚午南社協総会
- ・「ふれあいグループ」
総会

福祉協力員 役員研修会

草津・庚午南社会福祉協議会では毎年、町内会役員だけでなくボランティア、そして社協主催行事に参加して活動している福祉協力員の研修をしています。本年度は、平成二十六年十二月六日午後十三時半から草津公民館で開催されました。

公衆衛生協議会による講演が市の保険士さんによってあり、寒さに向けての健康上の注意、日常生活を注意する事で病気を防ぐ事等、為になる話でした。

その後、広島県警警部補の上野清明さんによる講演がありました。

広島では特殊詐欺による被害が増加の一途をたどっており、高齢者をねらった悪質なもので、私達はいかにして、その被害者にならないように、映像を見ながら話して下さいました。



特殊詐欺の被害者にならないポイント

- 「現金送れ」は全て詐欺!
 - 即断より相談
 - 留守番電話機能を有効活用
なりすまし詐欺
 - 必ず元の電話番号にかけて確認
 - 「風邪をひいて声がおかしい!」
「電話番号が変わった!」は詐欺!
- このような電話があったら、迷わず110番!

民児協ふれあいバザーの利益金 ふれあいグループ元気な仲間達へ!!

十一月八日・九日公民館祭において、ふれあいバザーが、民生委員協議会ふれあいグループ共催で行われました。全町の町民の皆様より提供されました余剰品の販売により今年は一十四万四千円位の利益があり、十二月十三日の幹事会で「ふれあいグループ元気な仲間達」の会長泉本氏・代理吉本さんに手渡されました。この資金はバスハイイクの費用として使われます。



「ふれあいバスハイイク」に参加して

平成二十六年十一月三十日(日)、曇り空のなか「ふれあいグループ元気な仲間達」のバスハイキングが総勢78名参加で行われました。

バスでしまなみ海道を走りながら、瀬戸内の島々と海の美しい風景を眺めながら、最初に瀬戸田の「水軍丸」に着き、たこめし、の昼食をとり、同じ瀬戸田の平山郁夫美術館で開催中の「ふるさと・瀬戸田からシルクロード」を觀賞し、美術館の前で各バス毎に記念写真を撮り、又バスに乗り、因島の万田酵素へと



ふれあい バスハイキング

十一月三十日(日)、日差しが少し暖かい中、草津球場を出発し、瀬戸田の平山郁夫美術館へと向かいました。障がいバスと観光バス二台、合わせて七十八名が水軍丸で昼食をとり、美術館を見学しました。

空もようが少し悪くなり、万田酵素の工場を見学した頃は、傘を借りる程に降っていました。参加された皆様、お疲れ様でした。



移動し、工場と畑をガイドの案内で見学しました。

万田酵素は果実・根菜類等五十三種の素材で、三年以上発酵・熟成させた植物発酵食品で、肥料・健康食品・化粧品等があり、畑の大根・白菜の大きいのは驚きました。サンプルを頂き、買い物すませ、一階帰途につきました。

今回は途中から雨が降り出したり、島から島へとけっこうハードなコースでしたが瀬戸内の美しさを堪能した楽しいバスハイイクでした。

ふれあいの集い

一月二十三日(金)、草津小学校体育館に、今年度は新一年生が、一クラス増え児童一六九名が参加。地域の方が寒い中、子ども達を温かく迎え、昔の遊び、あやとり・おはじき・紙ふうせん・けん玉・こま・お手玉・羽根つき・竹とんぼを順番に移動して、地域の方に教わり、難しい、おもしろいと真剣な表情で取り組む姿、見事な技を披露する子、体育館では、おはじきや元気な子供達、大人も盛り上がり、笑い声と歓声の中、ふれあいの集いが終了しました。



「楽しかった!!」「またしたいヨ!!」と子どもの声、地域の方は今日は体を動かしていい汗をかきました、昔を思い出して若返った「アーワーアハハハ!!」とうれしい笑い声が聞けました。

ふれあいの集い

一月二十三日(金)、草津小学校体育館で第二十一回ふれあいの集いが網本氏の司会で幕を開けました。一年生五組一六九名、地域の方や保護者合せて九十名余り、宮川会長が「地域の方から昔のあそびを習って」と、一年生代表がお迎えの言葉と共に元氣いっぱいハーモニーでミッキーマウスマーチを力をこめて一人一人がしつかりリズムにのって歌い自分達で作った羊の首飾りを地域の人にプレゼントして廻りました。

さて、昔の遊び。お手玉・けん玉・こま・おはじき・あやとり・紙ふうせん・羽根つきに別れ。



「そうそう、そうよ。」とほめる声、「まわったまわった」と大はしゃぎ、よく飛ぶのに驚く竹とんぼ、小さな女の子の上手なけん玉、あやとりもおはじきも羽根つきもびつくりする程の児童がいて皆で感動しました。



白石校長先生は草津小を卒業してゆく児童の想い出として一年生で『昔遊び』二年生で『けん玉』三年生で『草津おんど』四年生で『かき』の養殖、五年生で『かまぼこ』の工場見学、六年生で『手作りカレンダー』の配布の経験を話されました。

最後に大迫氏が「みなさんよく出来ました。もうすぐ新しい一年が入学してくるのでやさしく教えてあげて下さい」と。

あつと言う間に時が過ぎ、公衛協会会長より「今年には四七件から四三作品が選ばれ、どれも素晴らしい作品です」と続いて楽しみにしていた草津小吹奏楽部の演奏が始まりました。

「マタドールファンタジーツカリビアン」難しそうな曲名ですが、いかどどこかで聞いていたようでほっと休まりました。



平成二十六年 広島市地域福祉協議会 福祉推進委員 合同研修会の開催

二月四日(水)

●広島土石流災害

今年度は、市社協及び区社協、地区社協で大きな動きがありました。また、八月二十日未明に発生した安佐南区、安佐北区での土石流災害において、被災地域の社協だけでなく他の地区社協からの相互支援等、被災地区、八木学区社協、安佐南区社協から「避難所支援から見えたもの」という報告がありました。避難所の運営、のべ四万三千人の

ボランティア受付窓口等、八月二十日未明から九月中旬まで時間を追って報告されました。受付窓口には民生委員を配置し、住民の不安を取り除いたり、女性会からの差し入れ等組織の助け合いがあったそうです。草津地区から宮川会長、力田福祉推進委員が出席しました。

●広島ぐらしサポートセンターの開設

「生活困窮者自立支援法」に基づくモデル事業として社協が広島市より受託して二十六年九月より開設されました。

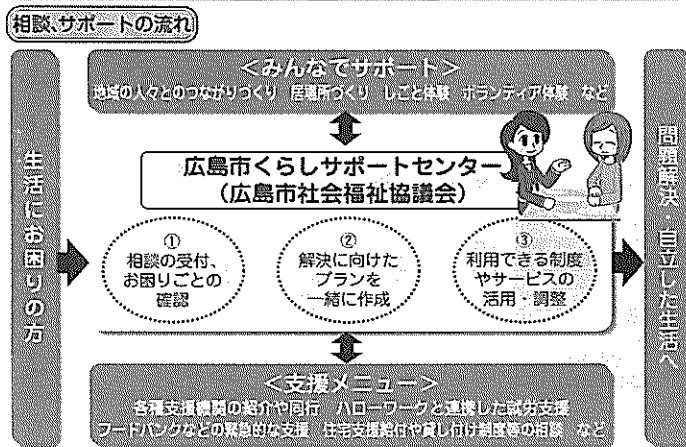
平成26年 9月1日 開設 広島市ぐらしサポートセンター

様々な理由で生活(暮らし)に困っている方、一人で悩まず、まずはご相談ください。どうしたらいいかを一緒に考え、解決に向けてサポートしていきます。

秘密 厳守 相談 無料 電話 (082) 546-9820

こんな時、遠慮なくご相談をお寄せください

- 長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない
- 家賃が払えなくてアパートから退去を求められそう
- ひきこもりなど、気になる家族がいる
- 借金があって、生活が苦しい
- 電気、ガス、水道を止められている
- 収入が不安定で生活費が足りない
- 社会に出て働きたい、人とつながりたい



▽編集後記△

広島でもやっと桜が開花し、風景が明るくなってきました。今年の合同研修会では、災害時、いざという時の支援の輪の確認の為に、平常時から、地域のたすけあい、活動が必要、これこそ平素の「福祉のまちづくり」の取り組みです。四月から民生委員が災害時要支援者調査を予定しています。これもその活動の一つです。

